

重点目標一覧表

担当部局名	真田地域自治センター
-------	------------

【平成26年度重点目標】

【平成27年度重点目標】

重点目標	真田地域の資源を活用した誘客体制づくりの推進	重点目標	NHK大河ドラマ「真田丸」放送に向けた体制づくりの推進	
	具体的な重点取組項目(箇条書き)		具体的な重点取組項目(箇条書き)	
	達成状況・達成度		期限・数値目標等	
1	<p>ゆきむら夢工房拠点化整備 ・大型車駐車場等整備 真田氏歴史館企画展 ・「大阪冬の陣」をテーマに特別展示 観光ルートの整備 ・真田の郷観光案内板等の整備 地域力を結集させた真田まつりの実施 真田地域内の観光資源活用の促進 ・ふるさと公園の有効活用、トイレ等の検討</p>	<p>大型車10台分の駐車場の整備 ・ゆきむら夢工房の展示販売スペース50㎡に増床 企画展入館者数9,906人(前年比31%増)</p> <p>2ルート(傍陽、砥石・米山)、案内看板10カ所を設置 地域のにぎわい・連携により民間自主組織の設立に寄与 「第30回真田まつり」参加者約9,000人(前年比20%増) 御屋敷公園、真田氏本城跡公衆トイレの施設位置の決定 ・ふるさと公園での各種イベント、利用団体の活用</p>	<p>ゆきむら夢工房拠点化整備(ハード・ソフト事業) ・施設の一体的整備(ハード)、地域おこし協力隊による施設運営・管理(ソフト) 真田氏ゆかりの史跡等に関する整備 ・史跡等へのアクセス道路整備、駐車場、トイレ、案内看板、景観整備等 ・真田氏館跡、真田氏本城跡の整備 真田の郷周遊観光バス運行 真田三代語り部の会運営支援 真田氏歴史館特別展の開催 真田氏を学ぶ講座開催 地域との協働による案内説明看板等整備</p>	<p>12月までにハード整備 7月以降の地域おこし協力隊制度活用 10月までにアクセス道路等整備 12月までに駐車場、トイレ、景観等整備、 支障木伐採、土塁保護柵設置 10・11・3月の土日祝祭日の運行 年度内の常設運営支援 期間中の目標入場者10,000人 ⑥年度内2講座以上の開催 12月までに案内看板等整備</p>
2	<p>重点目標 地域公共交通の推進</p> <p>具体的な重点取組項目(箇条書き) 真田地域協議会、真田地域自治会連絡会議への説明のほか、チラシや有線放送によるPRの積極的推進 バス利用促進イベントの開催 (1)新規企画として、定期回数券特別斡旋企画を実施 (2)真田地域公共交通利用促進協議会主催により各種イベントを開催 真田地域公共交通利用促進協議会の総会及び役員会の開催</p>	<p>達成状況・達成度 真田地域版バス時刻表を作成し、全戸配布を実施 各高校の真田支部総会において、利用促進チラシ配布 9月と3月の2回、回数券または定期券購入者に粗品をプレゼント 実績 9月:326人 3月:366人 計画したイベントはすべて実施 イベントも定着し、関心度が高まった 7月2日に総会を開催し、バス利用状況等を報告 役員会においてバスダイヤ等について協議</p>	<p>重点目標 地域内分権確立に向けての「地域経営会議」の設立</p> <p>具体的な重点取組項目(箇条書き) 地域協議会、自治会長会における「地域内分権」についての調査研究 ・検討 地域住民への周知・説明、意見聴取 「地域経営会議」の設立</p>	<p>期限・数値目標等 先進地視察の実施 「地域経営会議」の組織、規約等の検討 自治センターだよりによる周知 地域づくり委員会、各種団体等からの意見聴取 年度内</p>
3	<p>重点目標 菅平高原スポーツリゾート地の整備促進</p> <p>具体的な重点取組項目(箇条書き) 菅平高原観光トイレの改修整備 ・内外装の改修整備、ウォッシュレット化の実施 菅平高原スポーツ観光拠点施設整備検討 ラグビーワールドカップ2019キャンプ地及びその前後の冬季オリンピック、東京オリンピック・パラリンピック等の事前合宿地誘致の推進 菅平高原の自然環境保全に向けた植生の調査・研究 ・関係機関(真田教育事務所・筑波大・環境省等)、関係者及び関係団体による連絡会の設立</p>	<p>達成状況・達成度 唐沢の滝、菅池、大松山の公衆トイレのウォッシュレット化、設備改修を実施 地元と観光振興施設整備について具体的な内容協議 シティプロモーション推進室、上田市にラグビーワールドカップ2019キャンプ地を誘致する会と連携し、PR活動を推進 環境省と連携し、自然環境保全対策事業推進の「連絡会」設立準備</p>	<p>重点目標 菅平高原スポーツリゾート地の整備促進</p> <p>具体的な重点取組項目(箇条書き) サニアパーク指定管理者制度への移行検討 菅平高原スポーツ振興施設整備の推進 菅平高原植生環境保全に向けた体制検討</p>	<p>期限・数値目標等 指定管理者制度への移行検討 年度内のシティプロモーション推進室との連携による推進 年度内に運営組織の設立</p>
4	<p>重点目標 地域内分権確立に向けての住民自治組織設立の検討</p> <p>具体的な重点取組項目(箇条書き) 住民自治組織づくりの検討・推進 地域づくり委員会の機能強化 自治センターだよりによる地域内分権等に関する情報の発信</p>	<p>達成状況・達成度 地域協議会、真田地域自治会連絡会議において、地域内分権取組について説明会開催 また、27年度での先進地視察等の協議実施 地域づくり委員長選出依頼 H27:6自治会(H25:1自治会 H26:4自治会) 年6回地域協議会、地域情報の発信(協議会活動内容、地域内分権関係、NHK大河ドラマ関連記事等掲載)</p>	<p>重点目標 地域公共交通の推進</p> <p>具体的な重点取組項目(箇条書き) 真田地域協議会、真田地域自治会連絡会議への説明のほか、チラシや有線放送によるPRの積極的推進 バス利用促進イベントの開催 真田地域公共交通利用促進協議会主催により各種イベントを開催 真田地域公共交通利用促進協議会の総会及び役員会の開催</p>	<p>期限・数値目標等 会議等開催に併せて随時実施 6月末から七夕イベントを開始、真田まつり、クリスマス等に合わせ各種イベントを開催 総会7月、役員会随時開催</p>
5	<p>重点目標 災害時要援護者登録制度の普及、推進</p> <p>具体的な重点取組項目(箇条書き) 制度未導入自治会に対する説明会 実効性を高めるため、防災訓練等自治会での活用に向けた働きかけ 更新作業を通じ未登録者へ働きかけ 関係機関の連携強化</p>	<p>達成状況・達成度 すべての自治会が制度を導入 5/22 自主防災組織リーダー研修会、1/30 真田地域自治会連絡会議を開催 本制度を活用した防災訓練を6自治会で実施 順次更新作業を行い、未登録者への呼びかけを実施 更新実施24自治会 (1)4月、7月、9月の3回、民生児童委員協議会で、制度推進の打合せ (2)10/25 真田地区社会福祉協議会住民会議、3/7福祉推進委員・福祉委員合同研修会において研修 (3)いきいきサロン出前講座6回実施</p>	<p>重点目標 地域防災活動の推進</p> <p>具体的な重点取組項目(箇条書き) 自主防災組織の育成 (1)自主防災組織リーダー研修会の実施 (2)総合ハザードマップの利活用の促進 防災訓練の実施 (1)広域避難訓練の実施(重点地区) (2)重点地区以外では、自治会単位での防災訓練の実施 (3)有線放送の伝達情報の即時性を活用した防災訓練の実施 災害時要援護者登録制度の利活用 (1)自治会防災訓練での活用の働きかけ (2)更新作業を通じた登録同意率の向上 (3)関係機関と連携し、地域の見守り活動の一環として推進</p>	<p>期限・数値目標等 (1)6月までに、36自主防災組織を対象に実施 (2)年度内に、ハザードマップを利用した研修会の実施 (1)8月に、傍陽地区を重点地区に定めて実施 (2)11月までに、各自治会で、地元の消防団と連携した防災訓練を実施 (3)各種防災訓練において、有線放送を活用 (1)1月までに、全自治会への説明3回 (2)年度内に随時実施 (3)年度内に、社協、民生児童委員会での周知等の実施4回</p>
<p>評価基準 [○ : 目標を上回る達成] [△ : 目標どおり達成] [□ : 目標未達成の部分あり] [× : 全て目標未達成]</p>				
<p>市長指示事項 ・真田御屋敷公園等真田氏関連観光地の観光客受け入れについては、センターとして対応できるよう体制を整えること。・菅平の課題については、具体的に行動に移し実現に向け計画的に進めること。・地域内分権の確立については、着実に進めること。・真田氏とゆかりのある自治体との連携を一層進め、観光施策の充実を図ること。</p>		<p>市長指示事項 ・地域経営会議の設立にとどまらず、住民自治組織設置に向けて取り組むこと。 ・菅平高原スポーツ振興施設については、遅延のないよう取り組むこと。 ・総合ハザードマップは利活用を図ること。</p>		